NIE実践報告

1．タイトル：☆生きて働くことばの力を育てるNIE学習　~　生活的に学ばせるくふう~

2．学校名

徳島県吉野川市立美郷中学校

3．実践者名（代表者名）

谷木　由利

4．学年

第1・2・3年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

選択国語　６人

6．単元（本時の学習課題）名

単元「記事と記事を結ぶ」

7．目標(狙い)

・複数の新聞記事を読み比べ、共通点・相違点を整理し、自らの考えを持つ
・記事の内容や文章などについて意見を出し合う

8．評価の視点

・毎日の新聞を読む様子や記事集めの様子を通して、情報を有効に活用し、興味・関心のありようを把握する
・発表の準備、発表会のリハーサル、発表会を通して考えの深まりや話し合いのスキルを評価する

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

選択国語（1~　3年）30時間　①朗読発表会をしよう（7時間　②私の神話的時間~　思い出について話す~(5時間)　③絵本を読み聞かせよう(3時間)　④「記事と記事を結ぶ」(9時間)　⑤「絵本と絵本を結ぶ」読書会(5時間)　⑥「選択国語を振り返って」(1時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①毎日、新聞を読み、自分の興味ある記事や気になった記事をスクラップする(2時間)
②徳島新聞社「出前授業」により、「新聞のできるまで」のお話を聞き、メモを取り質問する。「記事と記事を結ぶ」上でのヒントをいただく。(1時間)
③集めた記事の中から、2~　4の記事を選び共通点や相違点を整理する。そこから考えついたことをメモする。(2時間)
④メモをもとに発表原稿を書く。発表のリハーサルをし、予想される質問に対しての答えを準備しておく。(2時間)
⑤「記事と記事を結ぶ」の学習発表会をし、他の学習者からの質問に答える。(1時間)
⑥単元の学習を振り返って、学習のまとめをする。(1時間)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・僕は戦争やテロについての記事をあつめていました。その中で戦争やテロで今もたくさんの命が奪われていることを知りました。新聞にテロや戦争の記事が載らない世の中になってほしいと強く思いました。と同時に新聞ができるまでのお話を聞いて、新聞ができるまでのたいへんさがよくわかりました。
毎日、新聞を見ていたり、書社の方のお話を詳しく聞いたりして、この学習に入る前の自分よりずっと新

12．成果と課題

今回の実践を通して、学習者の将来にわたって生きて働くことばの力を育てることの必要性とその手応えを実感した。そのためにはまず、国語教室そのものが、新聞のような生きて働くことばを扱う「実の場」であることの必要性を痛感した。学習者が生活的かつ目的的に、自らの興味・関心にもとづいて生き生きと、しかも困難を乗り越えることによる達成感を味わいうる学習の場がNIEであると考える。
少人数であるからこそ、1人1人のつまずきが見え、また成長の様がつぶさに見えた次第である。